

生物機能開発学専攻セミナー

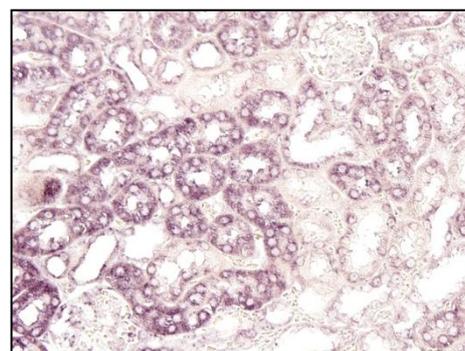
(生物圏科学研究科)

演者:金子 雅幸 准教授

(広島大・院医歯薬保(医)・分子細胞情報学)

題目: **タンパク質調節の鍵分子:ユビキチンリガーゼ**

近年、多くの疾患との関連性が示唆されている細胞内タンパク質分解機構ユビキチン-プロテアソームシステムは、細胞内の不要タンパク質の分解だけに限らず、様々なシグナル系を調節することで細胞機能維持や組織形成に重要な役割を果たしている。ユビキチンリガーゼ(E3)は、この機構においてタンパク質のユビキチン化を触媒する鍵分子であり、数百種存在すると推測されている。これまでに我々は、ヒトにおいて膜貫通型のユビキチンリガーゼを 37 種類同定した。酵母に存在する2種に比してこれほど多くの遺伝子がヒトに存在する理由として、組織特異的もしくは発生・発達段階特異的な機能があると推測される。そこで我々は、最新のゲノム編集技術を用いてそれらの生理機能の解明を目指している。本発表では、腎臓および神経細胞特異的なユビキチンリガーゼの生理機能に関して、最近の我々の研究成果を中心に紹介する。



近位尿細管特異的ユビキチンリガーゼ

日時: 12月16日 16:00~17:00

場所: 生物生産学部 C314

このセミナーは大学院の5研究科共同セミナーとなります。

セミナー世話人: 矢中(生物圏科学研究科; 内線 7979)